

平成30年度 学校自己評価一覧シート

愛知県立新川高等学校

<p>教育目標</p> <p>校訓</p>	<p>知・徳・体を錬磨し、国家及び社会の限りない伸展に貢献するとともに、人類が築いた文化遺産の継承発展に資する心身ともに健康な日本人を育成する。</p> <p>・真理と正義を愛しひたむきに学ぶ若人</p> <p>・勤労と責任を重んじいつくしみにあふれる若人</p> <p>・心と体を鍛えたくましく生きぬく若人</p> <p>つちかい かがやけ</p>	<p>本年度の重点目標</p>	<p>継続することで、成長を実感する —その先に生徒の未来がある—</p> <p>○生徒としっかりと向き合う</p> <p>○授業力向上と思考の深化を図る</p> <p>○適切かつ適時の信頼できる生徒指導を行う</p> <p>○可能性を引き出す進路指導を実践する</p>
-----------------------	---	-----------------	---

項目（担当）	重点目標	具体的方策	中間評価	評価結果と課題
<p>教職員の多忙化解消に向けた勤務時間の適正な管理（全職員）</p>	<p>・教職員の勤務時間の適正な管理及び長時間労働による健康障害の防止</p>	<p>・在校時間等の状況記録の集計結果等を安全衛生委員会等で確認し、1か月の時間外労働が80時間を超える教職員に対して、そのつど面接指導の希望の有無について確認を行い、教職員の健康障害防止に努める。</p>	<p>・在校時間等の状況記録の集計結果等を安全衛生委員会等で確認し、1か月の時間外労働が80時間を超える教職員に対して、その都度、面接指導の希望の有無について確認を行い、教職員の健康障害防止に努めてきた。毎月、80時間超えが10名前後いるが、面接希望は今のところ無い。</p> <p>◆今後は、平日の業務や部活動を他の教員とシェアするように働きかけたり、土日のどちらかは部活動を控えたり、土日が試合だった場合は、必ず月曜日を休養日とするなどを徹底していく。</p>	<p>・9月の安全衛生委員会で、原則19:30職員室施錠を決定し、10月から実施・徹底した結果、当月以降、80時間超えの教職員が3、4名に減少する結果となった。</p> <p>◆平日の業務や部活動を他の教員とシェアするようになり、土日のどちらかは部活動を控えたり、土日が試合だった場合は月曜日を休養日とするなどを呼びかけたが、徹底できなかった。来年度は、部活動ガイドラインを策定し、徹底していく。</p>
<p>学校行事の充実（総務・特別活動）</p>	<p>・防災活動の充実</p> <p>・儀式的行事の充実</p> <p>・学校行事への生徒の積極的参加</p>	<p>・2年目となった「防災セミナー」参加生徒を中心に防災活動の充実を図る。</p> <p>・学校への帰属意識や連帯感を深めるため、儀式的意義を理解しやすい運営に心がける。</p> <p>・各行事の際に、生徒会役員が主導して、議員、生徒実行委員会を企画準備段階から活動させる。</p>	<p>・あいち防災リーダー会西尾張ブロック清須支部長の有村和人氏に講演を依頼して、2年生の防災意識向上に役立てることができた。</p> <p>◆11月の防災講話も関連付けて行っていくことが課題である。</p> <p>・式次第を早期に連絡して、儀式的運営はスムーズにできている。1学期の終業式を放送で行ったことも良かった。</p> <p>◆3月の卒業式に向けてより一層生徒の参加意識を向上させていくことが課題である。</p> <p>・体育祭、文化祭においては、生徒議会を頻繁に開き、生徒会役員が中心となって各クラス議員との連携を図り、綿密な準備を行うことができた。</p> <p>◆全ての生徒が、何らかの形で準備・運営に関わる学校行事により近づきたい。</p>	<p>・あいち防災リーダー会西尾張ブロック清須支部長の有村和人氏に講演を依頼して、2年生の防災意識向上に役立てることができた。11月の防災講話では機器の不調で伝えていただきたいことが表現できなかったのが残念である。</p> <p>◆「高校生のための防災セミナー」で学んだことを来年度以降どのように活かしていくのが課題である。</p> <p>・臨機応変に会場を教室に変更することを含めて儀式的運営はスムーズに行えている。</p> <p>◆卒業式に向けてより一層生徒の参加意識を向上させていく。</p>
<p>学習指導の徹底（教務）</p>	<p>・学習習慣の確立</p> <p>・確かな学力の定着</p>	<p>・学習時間調査を定期的に行い、家庭学習の状況を把握する。</p> <p>・公開授業を実施し、学校全体で知識や経験の共有化に努める。</p>	<p>・全体的に学習時間は増加傾向が見られ、継続的な学習に取り組んでいる生徒が多い。</p> <p>◆休日の学習時間については、クラス間及び学年間で差が見られた。土曜開放等を積極的に活用させながら、休日においても計画的に学習できる集団の育成を目指していきたい。</p> <p>・6月の公開授業週間を利用し、全員の先生方に授業参観と授業見学報告書の提出を依頼し、学校全体で授業改善に向けて取り組んだ。</p> <p>◆引き続き、1時間の授業の中で生徒の思考をどれだけ深化せられるかという視点で、10月の公開授業週間等を通じて、学校学校全体で授業改善に努めていきたい。</p>	<p>・全体的に学習時間は休日・平日共に増加傾向が見られ、継続的な学習に取り組んでいる生徒が多い。特に、3年生は過年度比較においても、平日・休日共にしっかりと学習時間が確保できている。</p> <p>・6月及び10月の公開授業週間では、全ての先生方に授業参観と授業見学報告書の提出を依頼し、学校全体で授業力向上に向けた取組を実践することができた。</p> <p>◆2年生は学習時間がやや不足している傾向が見られていたが、11月の調査では休日において増加傾向が見られてきた。3年生進級に向けて、平日においては部活動と学習の両立を図りながら継続的な学習習慣の確立を目指して学年会と連携しながらすすめていきたい。</p> <p>◆次期学習指導要領実施に向けて、学校全体で育てたい資質・能力を整理しながら、「主体的・対話的で深い学び」を意識した授業を継続実践していきたい。</p>
<p>進路指導の徹底（進路指導）</p>	<p>・進路情報の共有と、その有効的な活用</p> <p>・進路目標実現のための、進路行事の充実</p>	<p>・模試結果などを検討し学力向上に努める。また、進路情報の素早い提供をして自分の進路を考えさせる。</p> <p>・補習、模試、土曜開放に対して意欲的に参加できるような工夫する。また、進路がイブの効果的な活用や、新入試への早期対応に取り組む。</p>	<p>・生徒の学習活動の取組み状況や、模試の結果を指導に活かすことができた。</p> <p>・生徒への進路情報は速やかに伝わるようにした。</p> <p>・補習の枠組み作成に例年より早く取りかかり、調整をすることができた。</p> <p>・1、2年生にオープンキャンパスへ参加するように指導し、生徒が自分の進路を前向きに考えるような取組ができた。</p>	<p>・模試の結果を踏まえ分析し、不十分な箇所を検討会などを通して対応することができた。</p> <p>・進路資料を整理し、生徒が使いやすくした。必要な進路情報は、教員向け・生徒向けに速やかに伝わるようにした。</p> <p>◆1、2年生のオープンキャンパスへの参加は、進路意識向上につながった。3年間を通してのキャリア教育の活動を見直したい。</p>

項目（担当）	重点目標	具体的方策	中間評価	評価結果と課題
進路指導の徹底 （進路指導）	・キャリア教育の充実	・職業・大学への関心を持たせる仕掛けづくりをする。	・従来の看護体験実習の参加に漏れた生徒に対し、新規の病院で看護体験実習をさせることができた。 ◆3年生の国公立大学説明会を見直す必要がある。 ◆保護者向け進路説明会の日程を来年度の年間計画には組み込む必要がある。	◆近年看護師希望の生徒の増加に伴って、体験実習ができる病院の枠を拡大したい。 ◆新入試に対応するため、英語の外部検定試験の校内実施をしたが、次年度は1、2年生に実施予定である。模試の回数とも合わせて総合的な見直しをしたい。 ◆8月の保護者向け進路説明会は好評であった。次年度も継続したい。
生徒指導の徹底 （生徒指導）	・基本的な生活習慣の確立と落ち着いた雰囲気のある学校生活 ・いじめの未然防止に係る取組の充実 ・いじめの早期発見、適切な事案対処	・毎朝の校門指導や生徒への積極的な声かけにより、ゆとりのある落ち着いた学校生活を送れるようにする。 ・身だしなみ指導により、落ち着いた雰囲気のある学校生活を送れるようにする。 ・全校集会や学年集会、ホームルーム活動において、生徒がいじめ問題を主体的に考える機会を設ける。 ・いじめの早期発見、未然防止については「新川高校いじめ防止基本方針」に従って適切に対処する。 ・「心のアンケート」や生活実態調査の実施により、いじめの早期発見、適切な対応につなげる。 ・交通安全講話やP T Aと協力した立ち番指導、学年指導、ホームルーム指導などにより、交通マナーの向上と事故防止を目指す。 ・P T Aと協力してスマートフォン等の情報機器の適切な利用ができるよう啓発を行う。	・校門指導や生徒への声かけの効果により昨年度よりも遅刻者が減少している。 ◆更衣猶予期間などに細かな服装の乱れが生じている。 ・「新川高校いじめ防止基本方針」に従って対処できている。 ・「心のアンケート」や生活実態調査により、いじめや問題行動の早期発見に努めた。 ◆度重なる指導にもかかわらず、地域からの厳しい指摘がある。 ・P T A会長と校長の連名によるスマートフォンなどの適切利用啓発文書を配布した。	◆二学期以降、登校時間の遅くなる生徒が増加しはじめた。一部の遅刻を繰り返す生徒への指導に力を入れたい。 ◆制服を正しく着こなせていない生徒が散見された。制服の持つ意味を考えさせる指導に取り組みたい。 ◆人権講話の実施により、生徒・職員が人権を考える機会となった。今後もしじめ問題を考える機会を継続的に設けていく。 ・生徒の情報収集に努めることができた。今後もアンテナを高くする必要がある。 ◆生徒が相談しやすい雰囲気を醸成したい。 ・大きな事故は起こっていないが、自転車での登下校時の事故が起きている。 ◆情報モラル講話を実施した後も、SNSの不適切な取扱いがあり、人間関係のもつれにもつながった。生徒一人一人に自覚を持たせる指導が必要である。
特別活動の推進 （特別活動）	・生徒議会の充実 ・より多くの生徒の、学校行事への主体的な関わり ・部活動の充実	・生徒議会を、議長・生徒会役員を中心として、生徒が主体的に運営できるものとする。 ・学校行事において、より多くの生徒が企画段階から関われる仕組みをつくる。 ・特別活動部と部顧問の連携を密にし、部活動の活性化を図る。	・生徒議会では、議長・生徒会役員の主導のもと、特活部教員の助言を参考にしながら、学校行事の企画・準備のための、あるいは学校生活をより充実したものとするための議論を重ねた。 ・体育祭、文化祭では、議員が企画・準備・当日運営において組織的に活動した。加えて、有志生徒も体育祭準備、文化祭当日の運営に関わり活動した。 ◆学校行事に多くの保護者に来校いただく際の駐車場の問題が課題である。 ・部活動日誌の活用や部顧問どうしの連携により、活動時の安全を確保したうえで、活動活性化に努めている。 ◆各部活動への適正入部人数の維持が課題である。	◆生徒議会の充実のためには、議員にクラス代表という強い自覚を持たせたい。 ・スポーツ大会の準備、運営を、生徒会と実行委員会の連携により実行できた。 ◆体育祭において、群団としての活動を充実させたい。 ◆文化祭において、クラス企画のジャンル決定について検討し、全てのクラスが一層前向きに取り組めるようにしていきたい。 ◆部活動について、顧問の協力を仰ぎつつ、活動時の安全確保と部員間の良好な人間関係の育成を図りたい。
教育環境の整備 充実 （保健）	・環境整備意識の高揚 ・安全で清潔な環境の維持と美化活動の推進	・校内の環境整備及び美化とゴミの分別処理・減量化を徹底する。 ・教職員、生徒全員による学校美化活動を充実させる。 ・特別教室の清掃道具の交換を行う。	・ゴミの分別の状況はよくなってきている。定期考査中や長期休業中にも日程を決めてゴミ回収をしている。 ・昨年度に引き続き、再任用の職員にも清掃監督をお願いしており、校内環境の美化は比較的保たれていると思われる。 ・教室の清掃道具は毎年交換をしている。特別教室の清掃道具も交換できた。	・校内の美化環境はよいと思われ、ゴミの分別状況もよくなってきている。清掃点検も2回実施した。 ・校内環境がきれいであるという評価を得て、他校の生徒会執行部の生徒が清掃状況を視察に来た。 ・来年度も引き続き、清掃道具の交換をしていきたい。
健康教育の推進 （保健）	・事故、けが、病気等安全に対する健康管理能力の育成 ・メンタルヘルスケアの充実 ・相談室の活用の充実 ・健康観察の実施	・生徒自身の心身の健康課題を理解させ、事故やけが防止の指導と事故後の早期対応を行う。 ・教育相談委員会を昨年度と同様毎週行い、生徒情報を全職員で共有して、対応を考える。 ・昨年に続いて、相談室の活用の仕方を工夫する。 ・朝のS T時に健康観察を全クラスで実施し、不調生徒の早期発見に努め、生徒情報の共有に努める。	・生徒と職員の参加のもとでのA E D講習会を実施できた。エピペン講習会 は小児科医に講話をお願いし、実際にエピペンを使用して講習を体験できた。今年の夏は酷暑だったが、保健委員による熱中症予報も例年通り実施できた。 ・教育相談委員会は毎週実施している。不調な生徒は今年度も多く、関係職員との情報共有を行っている。 ・相談室はスクールカウンセラーに利用していただいている。また、個別に生徒の相談の対応に利用されている。 ・健康観察は教育相談委員会や学年団に集約結果を配布し、不調な生徒の早期発見に努めている。	・A E D講習会、エピペン講習会、熱中症予報に引き続き、保健委員による文化祭の発表で行った骨密度の測定は好評であった。冬の換気の放送を行い、また、各教室に消毒用のアルコールを設置し、感染症予防に役立てた。 ・教育相談委員会は毎週実施して、不調な生徒の早期発見に努めている。 ・相談室はスクールカウンセラーに利用していただいている。また、個別に生徒の相談の対応に利用されている。 ・健康観察の集約結果は、教育相談委員会や学年会などに配布し、不調な生徒の早期発見に努めている。

項目（担当）	重点目標	具体的方策	中間評価	評価結果と課題
読書指導の推進 （図書）	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館利用の推進 ・読書意識の高揚 	<ul style="list-style-type: none"> ・読書・学習の場として、図書館の積極的利用を推進する。 ・図書館の利用促進を教科や学年会と連携して進める。 ・図書委員会活動を活性化し、図書館行事の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業、総合的な学習の資料となる書籍の充実を継続し、調べ学習の手引きとなる資料開発に取り組んでいる。 ◆教職員に対する利用推進への働きかけの具体的方策が課題である。 ・図書委員の自主的活動による「図書館便り」、「春の読書週間」、「読書会」、「七夕フェア」、「ビブリオバトル」、「文化祭企画」の実施によって、図書館活動をPRしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ビブリオバトル」・「百人一首」・「季節行事」・「各種企画コーナー」・「ガラスケース展示」などの図書館PR活動によって、来館者数・貸出冊数ともに増加した。 ・活発な図書委員会活動によって、図書館行事を充実させることができた。 ◆来館者数・貸出冊数をより伸ばすため、魅力ある図書館づくりを研究していきたい。
開かれた学校づくりの推進 （総務）	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA総会の充実 ・学校見学会及び学校説明会の充実 ・学校評価制度などの積極的活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者の増加を期待して参加しやすい本校での実施にした。 ・スタンプラリーでスタンプの数を増やすなど、参加しやすい行事にする。 ・学校評議員会、学校関係者評価委員会などでの幅広い意見集約に努め、学校運営に生かす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内実施に変更して参加者が増加して良かった。今年度は雨天のためグラウンドを駐車場として使用できなかったため、来年度に向け、使用方法に関しての工夫は重ねておきたい。 ◆学年別行事のもち方が課題である。 ・夏のスタンプラリーは好評であった。 ◆11月の見学会での施設見学のコースを工夫することが課題である。 ・新川高校の教育活動について、さまざまな評価・意見をいただき、それらを基に工夫改善できるように努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内実施に変更して参加者が増加して良かった。今年度は雨天のためグラウンドを駐車場として使用できなかったため、来年度に向け、使用方法に関しての工夫は重ねておきたい。 ◆学年別行事のもち方を検討していく。 ・夏の見学会ではスタンプラリーは好評であった。秋の説明会についても施設見学のコースを工夫して好評であった。 ◆秋の説明会での説明内容を工夫していきたい。 ・新川高校の教育活動について、さまざまな評価・意見をいただき、それらを基に工夫改善できるように努める。
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣の確立と規範意識の向上 ・学習習慣の定着と進路意識の形成 	<ul style="list-style-type: none"> ・遅刻、欠席のない規則正しい生活態度を育成する。 ・交通ルール・マナーの遵守を徹底する。 ・補習、土曜開放等を積極的に活用させる。 ・面談等を活用し、具体的な進路目標を設定させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・理由が曖昧な遅刻が増加している。 ◆指導の流れを学年で共有し、曖昧なまま過ぎていかないよう指導していきたい。 ・事故が多発した。 ◆交通マナーの徹底を集会でも呼びかけ、改善を目指す。 ・土曜開放、補習への参加人数が増えたが、安易な欠席が目立つ。併せて、課題の提出等が遅れることが増加した。 ◆学習習慣をつけさせて、課題未提出者を現状の半分程度にするのが課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・理由が曖昧な遅刻が増加している。 ◆指導の流れを学年で共有して指導できたが、特定の生徒が遅刻を繰り返しているため、引き続き指導していきたい。 ・事故が多発した。 ◆事故は減少したが、交通マナーは引き続き指導していきたい。 ・土曜開放、補習への参加人数が増えたが、安易な欠席が目立つ。併せて、課題の提出等が遅れることが増加した。 ◆学習時間は増え、課題未提出者も減少し、学習習慣がついてきた。未提出者には学習以外の問題もあるので、生活習慣と関連づけて粘り強く指導したい。 ◆夏休み中の大学調べで、進学に現実味を持たせたのはよかったと思う。
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> ・規律ある生活態度と充実した学校生活 ・自学自習の精神と進路意識の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・欠席、遅刻のない規則正しい生活態度と、ルールやマナーを遵守しようとする公德心を育成する。 ・思いやりと助け合いの精神を涵養する。 ・補習、土曜開放等への積極的な参加を促し、自ら学ぼうとする意欲の向上を図る。 ・将来を見据えた具体的な進路目標を設定させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大部分の生徒は遅刻、欠席もなく順調に学校生活を送れているが、一部の生徒に、遅刻を重ねたり、安易な欠席をしよう者がいる。 ◆学年全体で、遅刻や欠席をしないようにしようという雰囲気を作ることが課題である。 ・夏休み中のオープンキャンパスへの参加や、模試の結果の反省、文系の類型選択などを通し、進路に対して真剣に考える生徒が増えてきた。 ◆昨年度や過年度と比較し、学習時間が少ない。3年生になる前に、学習習慣を定着させることが喫緊の課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの生徒は落ち着いた態度で学校生活を送ることができたが、一方で特定の生徒が遅刻や欠席を重ねてしまうという状況であった。 ◆ルールやマナー、時間を守るなど、その都度指導をしないと徹底できない面があった。自制心を持たせ、より良い行動を自発的に取れるようにすることが課題である。 ・個人面談や学年集会を通し、3年生への進級を控えているという自覚を持ち始め、少しずつ進路意識の向上が見られた。 ◆進路目標実現に向けて、充実した学習時間が確保できるよう指導を続けていきたい。
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> ・進路実現を目指した取組の向上 ・進路指導の拡充 	<ul style="list-style-type: none"> ・補習、土曜開放への取組を促し、学校中心の生活を送り、進路実現のための実力を身につける。 ・視野の広い選択が出来るように、進路情報の提供及び面談の実施を継続的に行っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・補習の出席状況は良好である。模試の結果は成績においては過年度と同等であるが、学年としては回を重ねる毎に伸びてきている。 ◆土曜開放への参加で、講座は受講するが、自習になるとうまく活用できていない生徒がいる。 ・大学の情報など適宜提供することができている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・補習の出席状況は良好であった。終盤の模試結果は伸び率は小さいが回を重ねる毎に伸びていった。全体の結果は過年度と同等であった。 ◆土曜開放への参加は、ほぼ特定の生徒の参加であった。活用している生徒の集中力は高い。自学自習の重要性を理解させ、参加者を増やしたい。 ・国公立大・私大ともに適宜生徒に入試関係の情報を提供することができた。
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ○職員会議等、会議時間を削減し、生徒と向き合う時間を確保できるようになってきている。今後は、職員打合せも、板書を用いる等簡素化を図り、学年の打合せや担任が生徒と向き合う時間を増やしていきたい。 ○授業、課題、自主学習等に、主体的に取り組ませるために、授業改善や補習、土曜開放等の在り方を検討していきたい。 ○生涯教育を意識したキャリア教育の実践のため、就業体験等を通じた進路指導を工夫していく必要がある。 ○今年度も、自転車による事故が発生している。また、近隣住民等から、交通マナーについての苦情もいただいている。社会の一員として、交通マナー・ルールに対する意識の更なる向上を図っていきたい。 			

学校関係者評価結果等（来年度「経営案」へ）

<p>学校関係者評価を実施した 主な評価項目</p>	<p>各分掌の重点目標及び具体的方策</p>
<p>自己評価結果について</p>	<p>○本年度も、学年会や生徒と向き合う時間を増やすことを目標に、職員会議等の開催回数を削減するなど業務の精選や効率化を図ったが、課題も残った。職員間の業務の分担のバランスに配慮したり、部活動ガイドラインを遵守したりなどして、教職員の多忙化解消に向けた取組を前進させていきたい。 ○生徒が進路実現に向けて計画的に見通しをもって取り組むことができるように、進路選択に関する道標を作成することを通じて、進路実現に向けた積極的な情報提供を行うことができた。 ○教育相談委員会を定期的に開催し、スクールカウンセラーとの連携を引き続き図りながら、支援が必要な生徒一人一人への対応を多面的に考察し、その情報の共有に努めることができた。</p>
<p>今後の改善方策について</p>	<p>○登校時間が遅くなる生徒の数が増加し続けている。保護者との協力を図り、遅刻を繰り返す生徒に対する指導方法を検討する。 ○人権講話や情報モラル講座の内容を充実させるなどして、生徒一人一人に自覚をもたせ、SNSなどの不適切な取扱いなどが無いよう指導していきたい。</p>
<p>その他（学校関係者評価委員 から出された主な意見、要望）</p>	<p>○先生方は、持ち帰りの仕事もあると思うが、情報管理には気をつけていただきたい。 ○丁寧に、キャリア教育、情報モラル教育、各種説明会などが行われている点がよい。 ○土曜開放は、学力アップにつながっている。 ○看護実習に加え、福祉関係の体験実習なども受講できるように、外部に働きかけてもらいたい。 ○自転車通学者の事故が心配である。生徒の意識に浸透するように指導してもらいたい。できれば、学校周辺の道路に、自転車専用道路を設定して、そこを通行するように関係機関に働きかけてはどうか。 ○3年保護者向けの進路説明会を開催してもらえ、子どもに念押しや確認ができて、ありがたかった。 ○経年劣化の問題もあるが、トイレがきれいではない。臭いも、抜本的に解決してもらいたい。</p>
<p>学校関係者評価委員会の構成 及び評価時期</p>	<p>○学校関係者評価委員会の構成 学校評議員（清須市教育委員、清須市内中学校長、前PTA会長、地域代表、同窓会役員）、現PTA会長・副会長 ○評価時期 平成31年2月12日（火）</p>